

教育の内部質保証に関する方針

1 趣旨

本学は、「地域に生き、世界に伸びる」をモットーに、総合性への志向、地域性の重視、国際性の推進を理念として掲げている。また、豊かな教養と高度な専門性を有し、総合的な知識と実践力、創造性を備えた有為な人材を育成するとともに、研究成果を地域社会に還元し、教育研究資源を地域に提供することを通じて、熊本県ひいては国際社会の発展に寄与することを目的としている。

この理念や目的を踏まえた学位授与方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れ方針（以下「3つのポリシー」という。）に基づく教育研究活動の適切な実施を通して、教育の質を保証していくための方針を以下のとおり策定する。

2 基本的な考え方

本学の理念、目的、3つのポリシーに基づいて教育の質を高める取組が恒常的、継続的に実施されるよう、次の3点を大きな柱として推進する。

（1）推進組織の整備

授業レベルでは各教員、プログラムレベルでは各学部、各研究科、共通教育センター等、大学レベルでは自己点検・評価委員会（以下「各主体」という。）により、教育活動の質を高めるための点検・評価を実施していることから、これらの各主体を、本学における内部質保証システムの基盤的組織として位置付ける。

各主体による取組に加え、今後より一層効果的に内部質保証を推進していくため、全学的な内部質保証に責任を負う組織として「内部質保証推進委員会」を設置するとともに、関係する組織の役割、権限等の明確化を図る。

（2）PDCA サイクルによる確実な運用

授業レベル、プログラムレベル、大学レベルにおいて各主体が行うPDCAサイクルによる取組を基本として運用する。

これらの取組が適切に運用されているかを内部質保証推進委員会が点検・評価し、課題や問題があれば、各主体に対して改善のためのフィードバックを実施する。また、検証結果やフィードバックの状況を教育研究会議、理事会に報告する。

（3）教育の質に関する情報の公表等

本学の様々なステークホルダーに対して、理念や目的、3つのポリシー、入学者選抜の状況、授業の方法や内容、進級の状況、就職・進学情報等を公表する。

学生が、学位授与方針に示す資質や能力、知識、技能等を身につけていることについて、単位取得、GPA、学位取得、進路の状況、学生調査の状況等の学修成果との関係を明らかにし、可視化を図る。

教育の質を高めるための情報の収集・分析のあり方について検討し、その結果を踏まえた的確で効果的なIRを推進する。